

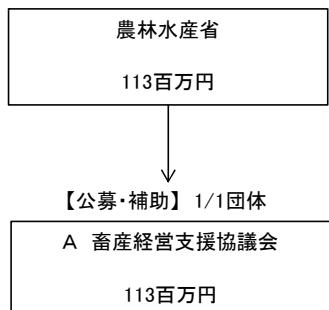
平成24年行政事業レビューシート (農林水産省)

事業名	畜産経営活性化サポート事業		担当部局	生産局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度～平成25年度		担当課室	畜産部畜産企画課		畜産企画課長 原田英男	
会計区分	一般会計		施策名	②国産農畜産物を軸とした食と農の結び付きの強化			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)			関係する計画、 通知等				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	我が国畜産の生産構造を、より競争力が高く持続性のあるものとするため、畜産農家の自己判断による経営の高度化・多様化を促進する体制を構築するとともに、効率的かつ安定的な経営の担い手を育成・確保する。						
事業概要 (5程度以内。別添可)	①地域の指導者が畜産経営者を指導する際に使用する資料の作成・提供、経営や生産技術に係る専門家の派遣等 ②畜産経営者相互において経営技術及び経営課題等に関する情報交換を行うための交流会の開催等 ③インターネットを通じ、畜産経営者に対して教材の配信を行うeラーニングプログラムの構築等 ④畜産経営者自らが経営における自己分析を行い、簡易に経営計画を決定できる経営高度化・多様化プログラムの構築等 補助率:定額 ※予算額・執行額の21年度は、組み替え前の事業について記載している。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	当初予算	291	277	113	74	63	
	補正予算	▲ 4	▲ 6	—	—		
	繰越し等	—	—	—	—		
	計	286	271	113	74	63	
	執行額	278	239	113			
執行率(%)	97%	88%	100%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (32年度)	
	・平成22年3月に閣議決定された新たな「食料・農業・農村基本計画」における生産数量目標(平成32年度)とする。 国産牛肉生産量: 52万トン(枝肉ベース) 国産豚肉生産量: 126万トン(枝肉ベース)	(牛肉) 成果実績 万t	52 (52)	51 (52)	51 (52)	52	
	達成度	%	100	98	97		
	(豚肉) 成果実績 万t	132 (126)	128 (126)	128 (126)	126		
	達成度	%	105	101	101		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	経営や生産技術に係る専門家の派遣等による相談・照会件数	活動実績 (当初見込み)	件	90	67	85	—
	eラーニングプログラム作成本数	活動実績 (当初見込み)	本	—	—	19	—
	経営高度化・多様化プログラム作成本数	活動実績 (当初見込み)	本	—	—	3	—
				(—)	(—)	(—)	(—)
単位当たり コスト	55,086(円/件)	算出根拠	活動実績である「経営や生産技術に係る専門家の派遣等による相談・照会件数」1件当たりに要したコスト(X/Y)を試算。 専門家の派遣等に要した費用=4,682千円…(X) 専門家の相談・照会件数=85件…(Y) (参考) 平成22年度:41,615円、平成21年度:19,665円				
単位当たり コスト	2,100,406(円/本)	算出根拠	活動実績である「eラーニングプログラム作成本数」1本当たりに要したコスト(X/Y)を試算。 eラーニングプログラム作成に要した費用=39,908千円(X) eラーニングプログラム作成本数=19本(Y)				

単位当たり コスト	8,140,765(円／本)		算出根拠	活動実績である「経営高度化・多様化プログラム作成本数」1本当たりに要したコスト(X/Y)を試算。 経営高度化・多様化プログラム作成に要した費用=24,422千円(X) 経営高度化・多様化プログラム作成本数=3本(Y)
平成 24 ・ 25 年度 予 算 内 訳	費 　目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
	企画会議等の開催	10	5	予算の執行状況を踏まえて、25年度要求に反映
	専門家の派遣等	4	3	
	生産者交流会	6	5	
	eラーニングプログラムの構築	18	16	
	経営高度化・多様化プログラムの作成	36	34	
	計	74	63	

事業所管部局による点検				
	評価	項目	評価に関する説明	
目的・状況・予算の 流れ、費目・使 途	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	一	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
活動実績、成果実績	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定について、事業実施主体の選定に当たっては公募を実施しているが1者応募となっている。なお、24年度の事業実施主体の選定に係る公募に当たっては複数の者からの応募があり、改善が図られたところである。また、単位あたりコストの削減については、23年度から事業内容を大きく見直したことにより、プログラム作成に係る活動指標が前年と異なる指標になったため、前年と比較できなくなった。なお、引き続きコスト削減に努めているところである。	
	一	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	一	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
点検結果	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	一	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名		
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
	21年度の行政事業レビューの結果を受け、23年度より事業内容を抜本的に見直し、畜産経営者が自己の経営について診断を行い、経営の高度化・多様化を促進するための事業内容とした。 畜産の役割や機能を維持・発展させていくためには、地域や経営における生産条件、生産者の創意工夫や主体性を活かした多様な経営を図る必要があり、本事業により、畜産農家の自己診断による経営の高度化・多様化等を促進するための体制構築等に対し、支援を行っているところ。平成22年3月に閣議決定された新たな食料・農業・農村基本計画においても、「大規模効率化を目指す農業者も、規模が小さくても加工や販売に取り組むこと等により特色ある経営を展開する農業者も、各々の創意工夫を活かしながら営農の継続・発展を目指していくことができるよう、現場の主体的判断を尊重した多様な努力・取組を支援する施策を展開していくこととする。」とされており、本事業は政策的にニーズがあり、優先度が高い事業である。 なお、成果物であるeラーニングプログラム及び経営高度化・多様化プログラムについては、研修会等を通じ広く普及を図っているところである。			
予算監視・効率化チームの所見				
抜本的改善	本事業は、公募している資金の流れのAIについて、1者応募となっており、昨年度に引き続き2年連続して1者応募となっている。また、eラーニングの活用度合を示す活動指標の設定を行うとともに、受講者に対するアンケートを行うなど事業の検証が必要である。以上のことから、「支出先の選定における競争性・透明性の一層の向上」、「適切な活動指標の設定」、「事業の検証」を行うべきであり、本事業としては「抜本的改善」とする。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
縮減	24年度の事業実施に当たっての公募においては、複数の者からの応募があり、「支出先の選定における競争性・透明性の一層の向上」が図られた。また、23年度に作成したeラーニングの活用度合を示す活動指標として、24年度事業については受講者数や受講者の理解度等の「適切な活動指標の設定」をするとともに、eラーニングの受講者のみならず専門家の派遣等を利用した相談者にもアンケートを実施しているところであり、これを基に「事業の検証」を行うこととしている。			
関連する過去のレビュー・シートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	0127	平成23年行政事業レビュー	0102	

※平成23年度実績を記入



- ①地域の指導者が畜産経営者を指導する際に使用する資料の作成・提供、経営や生産技術に係る専門家の派遣等
- ②畜産経営者相互において経営技術及び経営課題等に関する情報交換を行うための交流会の開催等
- ③インターネットを通じ、畜産経営者に対して教材の配信を行うeラーニングプログラムの構築等
- ④畜産経営者自らが経営における自己分析を行い、簡易に経営計画を決定できる経営高度化・多様化プログラムの構築等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.畜産経営支援協議会					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	eラーニングプログラムを作成するためのプログラムの構築費等	35			
	経営高度化・多様化プログラムを作成するためのプログラムの構築費等	22			
技術指導事務費	事業を円滑に実施するための技術指導費	26			
旅費交通費	・専門家の現地派遣 ・経営者交流会等	12			
印刷製本費	経営支援資料、経営者交流会報告書等	7			
諸謝金	・支援用資料作成に係る委員謝金 ・専門家派遣に係る謝金等	5			
賃金	委員会の開催、資料の作成等の事業実施に従事する臨時雇用者の賃金	3			
通信運搬費	インターネットを利用のための回線使用料等	1			
会場借料	経営者交流会等	1			
借上料	eラーニングプログラム及び経営高度化・多様化プログラム普及のための研修会のパソコンリース料等	0.7			
その他	会議費、支払手数料等	0.1			
計		113	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	畜産経営支援協議会	地域の指導者が畜産経営者を支援するための資料等の提供等及び畜産経営者自らが学習や経営計画の策定を行うことのできるプログラムの構築等	113	1	